

明道中学校 環境学習プログラム学校訪問 結果報告書

[日 時] 令和5年11月8日(水) 14:10～15:30

[出席者] (1) 学校側出席者 明道中学校校長、教頭、担当教諭、PTA副会長
 (2) 市側出席者 福井市環境学習プログラム学校訪問員1名、
 福井市学校教育課職員1名、環境政策課職員2名

[訪問内容] ・福井市環境学習プログラムにかかる取組の確認
 ・委員会活動の見学(美化委員会)

[講 評] ※ESDのポイントを踏まえ取り組まれているかを中心に講評しています。

<能力・態度>

批判的に考える力	①
未来を予測して計画を立てる力	②
多面的・総合的に考える力	③
コミュニケーションを行う力	④
他者と協力する態度	⑤
つながりを尊重する態度	⑥
進んで参加する態度	⑦

<概念>

多様性	①
相互性	②
有限性	③
公平性	④
連携性	⑤
責任性	⑥

概念を理解するために必要な(身につけるべき)能力・態度

I	環境の取組	能力・態度	概念
	≪授業実践、生徒会≫ ・日々の授業において、自然環境や地球環境について学習し、環境保全についての考えを深める。 ・執行部を中心にECO活動の内容を振り返り、集会や全校放送で報告する。	②、③、④、⑤、⑦	②、③、⑤、⑥
		所感 学校訪問当日は、最初に学校版環境 ISO への全体的な取り組みについて、オリジナルの資料を準備してくれたうえで、担当教諭からパワーポイントによる丁寧で具体的な説明がなされたことで、とても理解しやすかった。 その後の校内巡視では、屋上から1階の屋外に至るまで、雨水の利活用やヒートポンプなど丁寧に説明いただき、感謝する。 また、今年度は、生徒会の呼びかけで学校横を流れる底喰川の清掃活動に約60名の生徒が参加したとのこと、こうした自主的活動を高く評価したい。 なお、自然環境や地球環境についての学習に際して	

		は、データが多いこともあって受け身になりがちなので、一人ひとりが自分ごととして、何が問題なのかなど、課題を見つける方向に生徒を誘導されることを期待する。	
Ⅱ	環境の取組	能力・態度	概念
	≪節電の取組≫ ・美化委員会を中心に学級委員や日直とともに、節電や省エネルギーに取り組む。	②、③、⑤、⑦	③、④、⑤、⑥
		所感 実際に学校で消費される電気量について、具体的なデータで金額も含めて「見える化」して、生徒に提示していることは、節電に限らず環境意識を醸成する意味でも効果的だと思う。	
Ⅲ	環境の取組	能力・態度	概念
	≪ごみの分別、清掃活動≫ ・ゴミの減量やリサイクルの仕方を美化委員会中心に活動を呼びかける。また、各教室で不要になったプリント等を回収して再利用する。 ・校舎周辺の清掃活動を生徒会だけでなく地域と協力して行う。	②、③、④、⑤、⑦	②、④、⑤、⑥
		所感 清掃時に使用するクレンザーやゴム手袋などについて、その金額を知らせることで利用する生徒たちにコスト意識を持ってもらおうとの取り組みはユニークでとても有意義であり、他校でも取り入れてほしいと考える。 また、見学した美化委員会では、①古紙の分別、②火・木のごみ回収、③ポスター作成などについて、1～3年生約 30 人が熱心に検討しており、地味な活動だが、今後も継続してほしいと思う。	
Ⅳ	その他の所感		
	学校訪問時には、新道校長、奥村教頭、梅藤教諭に加え、北川 PTA 副会長からも明道中学校の環境への取り組みを具体的かつ丁寧に説明され、またこちらの話を熱心に聞いてくれたことに感謝する。 今回の学校訪問全体を通して、環境問題を「見える化」して、生徒に伝えたい、理解してほしいとの学校側の姿勢が強く伝わってきたことは、とても心強く感じた。 中学校は、3年生になると、多くの生徒が受験を控え、ともすれば「環境」どころではなくなるかもしれないが、今後とも、環境意識の醸成に尽力されることを期待している。		

[訪問の様子]

